

8 南市社第 9 1 8 号
平成 2 8 年 8 月 2 6 日

南丹市地域福祉計画推進委員会
委員長 岡崎 祐司 様

南丹市長 佐々木 稔納



第 3 期南丹市地域福祉計画の策定について（諮問）

“みんなでつくる、誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち”を将来像として、平成 25 年 3 月に策定した「第 2 期南丹市地域福祉計画」が平成 30 年 3 月をもって終了します。

この間、南丹市における少子高齢化、核家族化、人口減少は益々進行し、地域社会における交流が希薄になる中で高齢者や子ども、障がい者などを取り巻く環境は大変厳しくなっており、さらには貧困への対応など新たな課題も出てきているところです。

次期計画につきましては、南丹市地域福祉計画の進捗状況について点検・評価する中で、新たな地域課題を分析し、今後目指すべき施策の基本的な方向性を明らかにし、また、社会福祉協議会が策定される地域福祉活動の指針である「地域福祉活動計画」と一体的に策定することで一層実効性のある計画づくりを進めることといたしました。

つきましては、社会福祉法第 107 条の規定に基づく第 3 期南丹市地域福祉計画（平成 30～34 年度）を策定するにあたり、貴委員会のご意見をいただきたく諮問いたします。



平 28 南社協発第 204 号

平成 28 年 8 月 26 日

南丹市地域福祉計画推進委員会

委員長 岡崎 祐司 様

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

会 長 田 中



第 3 期 南丹市地域福祉活動計画の策定について（諮問）

“みんなですけあう あったか なんとん”を基本理念として、平成 26 年 3 月に策定した「第 2 期南丹市地域福祉活動計画」なんとんふれあいプランが、平成 30 年 3 月をもって終了します。

この間、南丹市地域福祉計画との連携・協働を図りながら、人々の「つながり」や「絆」づくりのための仕組みづくりに取り組む中、見守り活動やサロン活動など、身近な地域の中でつながりをつくる活動の広がりや、その推進役としてのふれあい委員活動も徐々に定着してきました。一方、生活困窮問題など、新たな地域課題も生じております。

次期計画におきましては、第 2 期南丹市地域福祉活動計画の進捗状況を評価・検証し、新たな課題への対応策を含めた地域活動の目標について、南丹市地域福祉計画との一体的な策定により、整合性と実効性を図ることとなりました。

つきましては、第三期南丹市地域福祉活動計画（平成 30 年～34 年度）を策定するにあたり、貴委員会のご意見をいただきたく諮問いたします。